

大朝日岳

記： TA

期 日：7月7日（月）～8日（火） 晴

コース：

1日目：古寺案内センター/5:30→一服清水 7:30→ハナヌキ峰分岐 7:50→三沢清水 8:40→古寺山 9:15→小朝日岳分岐 10:00→銀玉水 11:30→大朝日岳山頂避難小屋 12:40/13:20→大朝日岳 13:40/14:00→大朝日岳山頂避難小屋 14:20/16:30→大朝日岳 16:50/17:00→大朝日岳山頂避難小屋 17:15（泊）

2日目：大朝日岳山頂避難小屋/3:55→大朝日岳 4:15/4:40→大朝日岳山頂避難小屋 4:55/5:55→銀玉水 6:30→小朝日岳 7:54/8:05→古寺山 8:45→三沢清水 9:10→ハナヌキ峰分岐 9:50→一服清水 10:10→古寺案内センター11:40

参加者：TA、AN、FY、MT



古寺案内センターに前日泊
内装がきれいで、お料理が美味しかった
早朝 5:30 に出発



朝陽館跡
建物は崩壊しかかっている
登山口はこの裏側に回る
いきなり急登だが、10分位で尾根に上がる



合体の木
ヒメコマツ（左）とブナ（右）が合体している



この辺りはルンルンの尾根道



出発して2時間で一服清水に到着
冷たくて美味しい
要所で水の補給ができるのは本当にありがたい



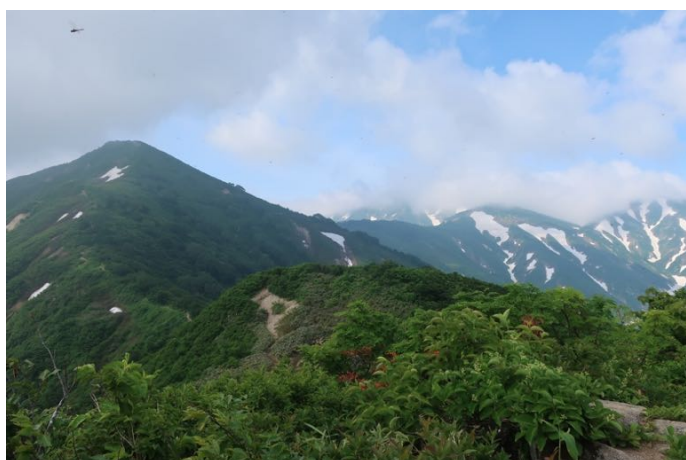
更に1時間で三沢（さんざわ）清水に到着
ここは、前日に地元山岳会がホースで水を
引いてくれたのだそう（ラッキー）



標高が上がってきて（1500m 弱）
ヒメサユリ登場！



第一関門のピーク、古寺山に到着
本日はトンボが多く、ブヨなどの虫が居ない



中央奥に大朝日岳が見えるはずなのだが、
雲に覆われて見えない
手前左は小朝日岳



雪渓登場！
この雪渓はほぼ平ら
踏み抜きにだけ気をつけて通る



小朝日岳への直登ルートは避けて、右の巻き道へ
巻き道もアップダウンが多く結構ハードだった



小朝日岳を過ぎるとお花畑の尾根道
ヒメサユリの群生



銀玉水に到着
取水口は少し左に下る



水量豊富
冷たくてとても美味しい
各自2L、明日ここに戻るまでの分の水を確保



大朝日岳への最後の登りは石畳の階段で始まる
足元が良く、疲れた足に優しい
ここからは霧（雲）の中



霧で視界の届かない中
緩やかな尾根を登っていくと
突然、避難小屋が現れた



本日の宿、山頂避難小屋に無事到着
小屋番さんに利用方法の説明を受け、
指定の場所に寝床を確保



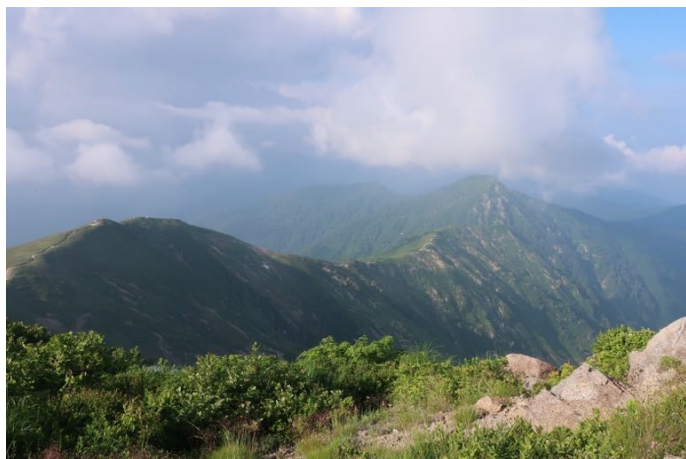
サブザックの軽装に身支度を整え、
(霧中ではあるものの)
山頂へ



大朝日岳山頂！ 標高 1,870m
展望はない



小屋に戻って外のベンチで談笑していると
夕方、晴れてきた
16:30 再び山頂へ



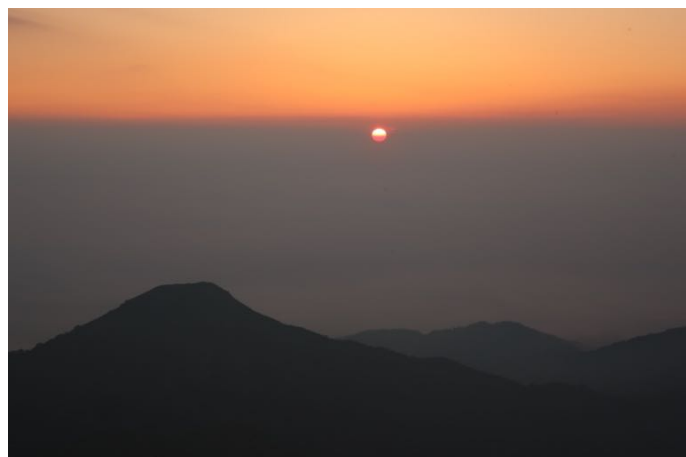
登りに通ってきた小朝日岳方面の尾根が良く見えた



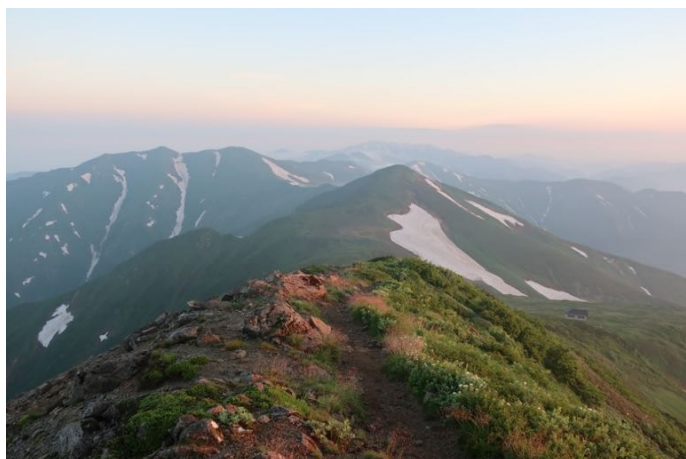
翌日、夜明け前に起きて山頂へ



今日は晴天
北方に月山や鳥海山が見えた
(南方の飯豊山方面は視界無し)



大朝日岳山頂にて
小朝日岳とご来光



中岳（正面手前）、西朝日岳（左）、
以東岳（正面遠方）が良く見えた
いつか行ってみたい縦走路



朝食を取って、
さあ、下山開始



小朝日岳手前のお花畑より大朝日岳を振り返る
宿泊した避難小屋が見える



ヒメサユリと
大朝日岳（雲に隠れて残念）



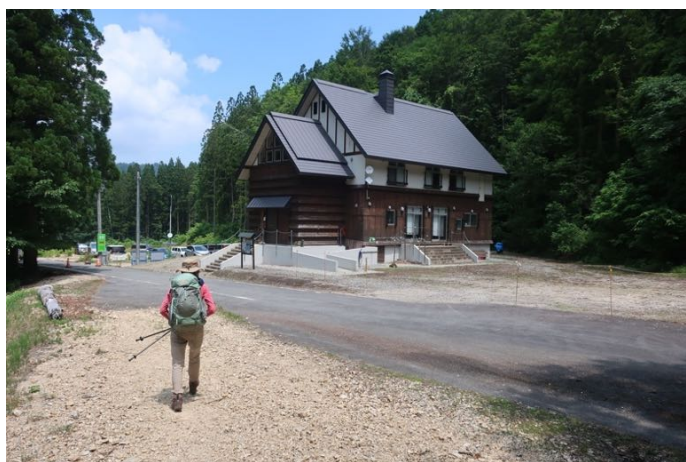
帰路では小朝日岳のピークを通る
急登を頑張る



小朝日岳山頂
登って良かった

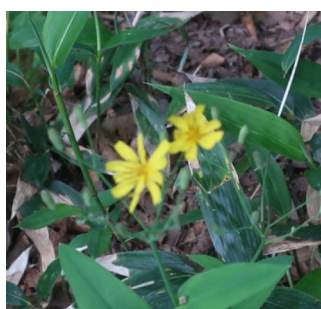


その後、各水場で水を補給しながらゆっくり下山
ようやく、旧朝陽館前の橋を渡る



ついに古寺案内センターに無事到着
お疲れさまでした

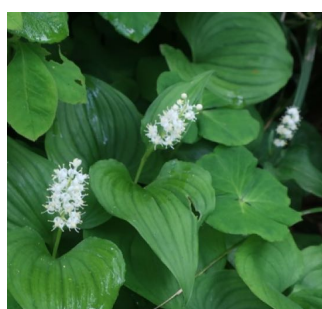
出会ったお花（標高の低い順）：



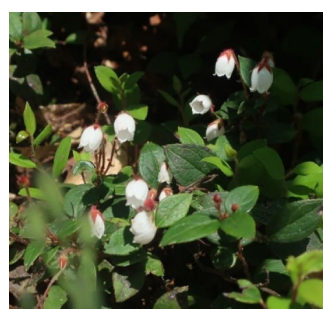
ニガナ



ツルアリドオシ



マイヅルソウ



アカモノ



シロバナニガナ



ハクサンチドリ



ヒメサユリ



ハクサンシャクナゲ



ニッコウキスゲ



サンカヨウ (実)



ミヤマククルマバナ



ウラジロヨウラク



ヒナウスユキソウ



チングルマ



イワギキョウ



ハクサンフウロ

以上